

変形性膝関節症に朗報! 膝軟骨の再生医療

—手術に踏み切れないけど、ヒアルロン酸で改善が見られない人—



心
最高の
設備 技術

最前線医療を行く

NEW
【膝軟骨の再生医療】
血液に含まれる血小板の傷の修復能力
を利用するもので、自身の血液から抽
出・濃縮して軟骨の損傷部分に注入し、
痛みや進行を抑える。靭帯損傷部の治癒を

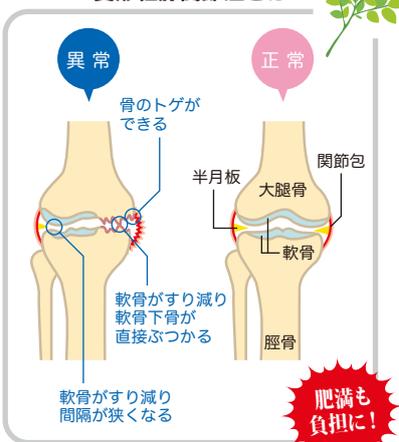
NEW

【保存療法】
変形や痛みが比較的軽い場合は、理学
療法士の指導下で運動・ストレッチなど
で筋力を強化し、薬などで疼痛の改善・
予防。

治療法

【保存療法】

変形性膝関節症とは?



加齢とともに膝の軟骨がすり減り変形
していく病気で、痛みや歩行困難などで
日常生活に支障を来すようになるもの。
問診・視診、レントゲンやMRIなど
で検査し、診断する。

変形性膝関節症

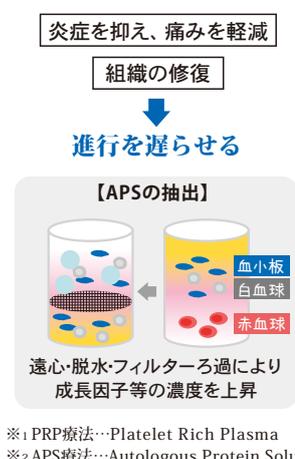
股
関節・膝関節の人工関節手術を、患者に負担の少ない最小侵襲手術法で成
果を挙げている西の京病院整形外科・人工関節センターでは、変形性膝関
節症の治療に最先端の膝軟骨の再生医療を、今年度中に取り入れる予定だ。内藤
浩平センター長に、その新たな治療法について話を伺った。

【手術II人工関節置換術MIS法】
痛みや変形などが強く、日常生活も不
自由な場合は、人工関節置換術を検討。
同院では、画期的な人工関節置換術を
いち早く導入、皮膚・筋肉・腱の切開は極
小(6~10cm)、入院期間は従来の三分の
一、と患者の負担が軽減される上、手術
翌日には歩行訓練開始で社会復帰も早い。
同院での人工関節手術の最高齢者は90歳!

【手術II人工関節置換術MIS法】
Minimally Invasive Surgery
痛みや変形などが強く、日常生活も不
自由な場合は、人工関節置換術を検討。
同院では、画期的な人工関節置換術を
いち早く導入、皮膚・筋肉・腱の切開は極
小(6~10cm)、入院期間は従来の三分の
一、と患者の負担が軽減される上、手術
翌日には歩行訓練開始で社会復帰も早い。

【手術II人工関節置換術MIS法】

PRP療法
中・大投手がひじの靭帯の治療に適用!
ヒアルロン酸などの薬で改善が見られない
場合、手術に踏み切る前段階として、膝軟骨
の修復を図るのが再生医療です。



目指すPRP療法と、膝軟骨そのものの
修復再生を促すAPS療法があり、その
有効性や安全性が確認されているが、現
在は保険適用外の自由診療だ。
※厚生労働省に認可された医療機関でのみ実施
(再生医療等安全性確保法)



治療の選択肢が増えてきました。人生
100年時代に自立した生活が送れるこ
とに意義があるので、本人が望む生活ス
タイルを最優先します。ヒアルロン酸と
手術の間の治療法として、再生治療の有
効性は大きいですね。

整形外科部長・人工関節センター長・
リハビリテーションセンター長
内藤浩平 医師 NAITO KOHEI
整形外科学会専門医、リウマチ学会専門医
リハビリテーション医学会認定臨床医、
骨粗鬆学会認定医

～自宅でできる手軽な運動～

足上げ体操
椅子に座って片方の足を上げ、10秒キープ(左右5回)

もも上げ体操
仰向け・横向きになり、片方の足を約30度持ち上げ10秒キープ(左右5回)

足首ほぐしとひざ裏伸ばし体操
ひざに力を入れて、ひざ裏とつま先を伸ばし4秒キープ、つま先を反らして4秒キープ(左右20回)
柔軟性を高めよう!

ひざ裏を伸ばそう!